

八峰白神ジオパーク構想ツアーのお知らせ

土地の成り立ちと人々の暮らし～砂丘と段丘～

八峰町内の「砂丘」と「段丘」を観察します。普段、何気なく目にしている地形が私たちの暮らしとどのように関わっているのかを考えてみませんか？

◎日 時 10月22日(土) 10:00～15:30

◎定 員 40名

◎ガイド 白石建雄氏(秋田大学名誉教授)・・・八峰町の段丘を研究された方です
工藤英美氏(八峰白神ジオパーク推進協議会会長)

◎参加費 600円

◎ツアースケジュール(小雨決行)

9:45	集合・受付	あきた白神体験センター内
10:00	開会式	〃
10:05	事前講習会	〃
11:00	観察場所①	「十八石」
11:40	観察場所②	「ポンポコ山」
12:10	昼 食	ジオパークにちなんだ昼食をご用意いたします。
13:20	観察場所③	「向能代台地」
14:05	観察場所④	「大槻野台地」
14:50	観察場所⑤	「八森小学校」
15:20	閉会式	あきた白神体験センター
15:30	解散	

◎当日ご持参いただくもの

動きやすく寒くない服装、汚れてもよい靴、帽子、雨具(雨カップ、折りたたみ傘など)、飲みもの

◎申込期限 10月19日(水)までにお電話でお申し込みください。

◎問合せ・申込先 八峰白神ジオパーク推進協議会事務局
八峰町峰浜田中字野田沢20-1 峰栄館2階
TEL70-3881

荒天時の開催は当日の午前7時までに判断いたします。中止の場合は午前8時までにご連絡いたします。

当日、ご不明な点がございましたら下記連絡先までお問い合わせください。

TEL090-4521-9565



水沢川の芸術作品 ～河岸段丘～

水田は水を張らなければならぬので、地面を水平に整地します。そのとき、自然の地形を崩さないように作業をすると労力が少なくて済みます。水沢川下流の両岸を空から見ると(写真)、上流から河口方向に流れている水沢川はゆるやかな曲線を描いています。その曲線と良く似た曲線が畦畔のあちこちに見られます。これら曲線が織りなす模様が美しい芸術作品となって眼下に広がっています。水田の高さに注目すると、大まかに3通りに分けることができます。

①水沢川よりわずかに高い水田。
②崖を隔てて1段高い岩子集落のある水田。
③さらに次の崖を隔てた大槻野集落のある水田。

水田を作っている面は段丘面、崖は段丘崖といえます。前号で紹介した海岸段丘と同じ呼び方となっていますね。段丘の出来方は前号で述べた通りですが、何が土地を削ったかによって違いが出てきます。海の波が削った場合は海岸段丘で、川で削った場合は河岸段丘となります。

ところで、海岸段丘ができるためには海面の高さが変化しなければなりません。では、河岸段丘の場合も海面の高さが変化しなければならぬのでしょうか。

旧沢目中学校生徒たちの研究

この疑問に挑戦したのは旧沢目中学校3年生たちでした。Sさんはレポートに次のように図入りで説明しています。図1は水沢川の水はゆ

るやかに流れていて、川は蛇行(だう)しています。これは前号で書いた条件①の場合です。もし海面が下がる(条件②)と水沢川の流れは急になります。すると蛇行は中止し川底は深くなります(図2)。次にまた条件①となると、川は又蛇行をはじめます。この繰り返し(図3、図4)で河岸段丘ができますので、明らかに海面の変化が河岸段丘の形成にかかわっている、とSさんは説明しています。

この研究は理科の時間に「郷土の成り立ちを調べよう」をテーマに約2ヶ月半をかけてクラス全員協力し合って調査したものです。疑問点が出ると調査を続けるという積み重ねの未仕上げたレポートでした。すばらしい推理力だと思いませんか。

八峰白神ジオパーク推進協議会
会長 工藤 英美

